

住民主体の通いの場

& 通所型サービスCについて



こだいちゃん

奈良県
橿原市役所 地域包括支
援課
かしはらし



さららちゃん

住民主体の通いの場について



● 檀原市における概要・現状

- ・ **住民主体の通いの場**として、予防活動サークル（＝一歩会）が15団体登録している。
- ・ 決まりは週に1回30分以上の運動としているが、現在登録数が**伸び悩んでいる**。

● 疑問・課題

- ・ どうすれば住民主体の通いの場を増やすことができる？
- ・ 興味を持ってくれる人をどのように探せばよい？
- ・ 情報を行き届かせるための工夫を知りたい！

住民主体の通いの場について②



●いただいたアドバイス

- ・ブランチの会議で一步会について発表する。行政だけでなく、実際に活動している一步会の方にも話してもらうことで、他の地域の人にもプロセス・活用・効果を身近なものとして感じ、**共感してもらう**。
- ・地域づくりというのはリーダーを育てることではなく、**「明日は我が身」という考えを持ってもらうことが大事**。

●実行したこと

- ・一步会について説明会を実施。説明会の実施にあたって、民生委員や市主催の教室の参加者、市広報、庁舎入り口のラックへチラシ設置など、周知に力を入れた。説明会では、地域のつながりの重要性の説明、実際に活動している一步会の方の声を紹介するなどした。

通所型サービスCの利用について



①

● 檀原市における概要・現状

- ・ 通所型サービスC（短期集中予防サービス）について、通所型サービスAの短期集中版として、実施。
- ・ 個別に事業所を利用する形態だが、ここ数年利用が減少傾向。

● 疑問・課題

- ・ 全国的に教室型ではない事業所が行う通所Cの利用者は多いの？
そもそも大半が教室型なの？
- ・ 短期集中と通所リハ、訪問リハの住み分けはどうすればできる？
- ・ 実際窓口で相談に来られた際にどのような案内をすれば、スムーズに短期集中につなげられる？

通所型サービスCの利用について



②

●いただいたアドバイス

- ・ 相談支援体制を充実させることで、短期間で回復できる見込みの人を早期発見。
- ・ 「サービスCは3か月で終わり！目標達成で終わり！（段階を経たモニタリング実施）」を大前提として理解させる。
- ・ 通所型サービスCの対象者の選定、必要なケアマネジメント能力、事業所の役割・行政の役割といったものを各々が理解する。
- ・ 地域包括支援センターと対象者の選定について見直してみる。
- ・ イメージがわくようにサービスCの利用風景とともに短い文章を挿入したDVDを作成し、地域包括支援センターで流したり、地域を見守る民生員・老人会の方や、いずれ当事者となる可能性があるサロン・通いの場・市主催の教室の参加者に見せる。

通所型サービスCの利用について

③



● 実行したこと

- ・ 地域包括支援センターのケアマネジャーに向けて、短期集中予防サービスについて説明会を実施。自立支援地域ケア会議においても、サービスCが向いていそうな事例があれば、サービスCについて説明し、地域包括支援センターのケアマネジャー以外にもサービスCを知ってもらった。



★市として短期集中とすべきケースが 判断するポイント

- ① 本人の意欲・意識（最大ポイント！）
- ② 目標設定の妥当性
- ③ 慢性疾患（どのレベルか？改善可能性）

8. 使用例（実績）

通所

▶ 原因

側溝に転落し腰椎圧迫骨折後、趣味活動も停止。当初整形外科医より運動を制限されていたが、約半年後運動許可が出たため訓練希望。

▶ 本人の意向・目標

自力で趣味の語学教室に行くことを再開したい。基本は自転車希望だが、まずは一人でバスの利用が出来るようになりたい。

▶ サービス

通所C（PT）

- ・姿勢修正により可動域を広げる訓練・動作の指導により、転びにくい体づくり、痛みのない体づくりをサポートする。
- ・在宅での自主トレーニングの指導。
- ・他者との交流の場を提供。

▶ 評価

終了直前に趣味活動を再開。まだ一人では行けず、友達の送迎利用（自信がまだなかった）。通院については、公共交通機関を利用して行けるようになった。趣味の語学教室を再開できている。徐々に公共交通を利用しながら一人で出かけられるようになってきている。

10. 通所リハ・訪問リハと何が違うの？

通所リハ・訪問リハは、原則

- ・ 通所優先
- ・ 両方を同時利用不可 となっています。



サービスCは、通所・訪問を同時に利用
でき、効率的な回復を目指します！

⇒サービスCは、軽度者の復帰のための
選択肢の一つと捉えていただきたいと思います。

住民主体の通いの場について & 通所型サービスCの利用について



- 今後取り組みたいこと
 - ・ 市主催の教室に来るような元気な方へも、サービスCについて周知する。
本人の今後のため、周りの人にもためにもこんなサービスあるらしいよと周知してもらおう。
 - ・ 地域包括支援センター以外のケアマネジャー以外へのサービスCの周知ができていないので、今後周知する方法を検討していく。
 - ・ 檀原市においても住民主体の通いの場についてDVDを作成する。
写真と言葉での説明よりも動画のほうが、説明会の参加者に活動時の雰囲気
が伝わりやすく、やってみようかなというやる気につながるかもしれないと
思った。